

気候情報

2023年8月の日本の天候

- 気温は北・東・西日本でかなり高かった
- 降水量は沖縄・奄美でかなり多く、東・西日本太平洋側が多かった一方、東日本日本海側でかなり少なく、北日本日本海側と北日本太平洋側で少なかった
- 日照時間は北・東日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多く、東日本太平洋側が多かった

8月の天気概況

北日本を中心に暖かい空気に覆われ、また台風第6号や第7号の影響で南から暖かい空気が流れ込み、日本海側ではフェーン現象も発生したため、月平均気温は北・東・西日本でかなり高かった。8月10日には新潟県の糸川川で日最低気温が31.4℃となり、日最低気温の高い方からの歴代全国1位を更新した。一方、東・西日本太平洋側では、台風第6号や第7号の影響で大雨となった所もあった。沖縄・奄美では、動きの遅かった台風第6号の影響を受けて曇りや雨の日が多かった。

上旬：北・東日本を中心に太平洋高気圧に覆われやすく晴れた時期があった。一方、北海道地方で前線が停滞し、曇りや雨となり、記録的な大雨となった所があった。南西諸島付近を通過し九州の西を北上した台風第6号や、東・西日本太平洋側を中心に暖かく湿った空気が流れ込みやすかった影響で、東・西日本と沖縄・奄美で曇りや雨となり、記録的な大雨となった所があった。

旬平均気温は、北・東・西日本でかなり高かった。一方、沖縄・奄美でかなり低かった。

旬降水量は、沖縄・奄美でかなり多く北・西日本日本海側と東・西日本太平洋側が多かった。一方、東日本日本海側で少なかった。北日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、沖縄・奄美でかなり少なく、西日本太平洋側で少なかった。一方、北日本太平洋側と東日本日本海側が多かった。北・西日本日本海側と東日本太平洋側では平年並だった。

中旬：期間のはじめや終わりには、太平洋高気圧に覆われて東日本を中心に晴れた日が多かったが、15日に和歌山県に上陸した台風第7号の影響で、東・西日本を中心に記録的な大雨となった所があった。15日には鳥取県で大雨特別警報が発表されるなど、各地で土砂災害や河川の増水・氾濫、浸水の災害が発生した。

旬平均気温は、北・東日本でかなり高く、西日本で高かった。一方、沖縄・奄美では低かった。

旬降水量は、北・東・西日本太平洋側が多かった。一方、北・東日本日本海側で少なかった。西日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、北・東日本日本海側と東日本太平洋側が多かった。北・西日本太平洋側、西日本日本海側、沖縄・奄美では平年並だった。

下旬：北・東日本を中心に太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かった。南から暖かい空気が流れ込みやすく、日本海側ではフェーン現象も発生した。沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすく晴れた日が多かった。

旬平均気温は、北・東日本でかなり高く、西日本と沖縄・奄美で高かった。

旬降水量は、北日本太平洋側でかなり少なく、北・東・西日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。西日本太平洋側では多かった。東日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、北・東日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多く、東日本太平洋側、西日本日本海側、沖縄・奄美で多かった。西日本太平洋側では平年並だった。

8月の気候統計

月平均気温：北・東・西日本でかなり高かった。沖縄・奄美では平年並だった。

月降水量：沖縄・奄美でかなり多く、東・西日本太平洋側が多かった。一方、東日本日本海側でかなり少なく、北日本日本海側と北日本太平洋側で少なかった。西日本日本海側では平年並だった。

月間日照時間：北・東日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多く、東日本太平洋側が多かった。一方、西日本太平洋側と沖縄・奄美で少なかった。西日本日本海側では平年並だった。

(気象庁大気海洋部観測整備計画課)

—— 8月の記録(1位更新のみ、タイ記録含む) ——

- ・月平均気温の高い方から(℃)
宮古(岩手県)27.2など70地点
- ・月降水量の多い方から(mm)
宮崎(宮崎県)949.5など4地点
- ・月降水量の少ない方から(mm)
新潟(新潟県)2.0など3地点
- ・月間日照時間の多い方から(h)
酒田(山形県)322.5など2地点

2023年8月の平年差(比)図

